

何ができるか？ 10万円



タイトル通り、ズバリだけど、「10万円で何ができるのか？まだハーレーに乗ってない人や、これからハーレーを購入しようって人、それにツインカム88の新車買ったばかりなんて人にぴったりの企画なんだな。ノーマルで乗る人はいないって言うほど、カスタム好きなライダーがチョイスするハーレーダビッドソン。じゃあ、いったい、10万円あれば、カスタムしたりチューニングしたりってどこまでできるのか？実際にケーススタディを紹介して、この時代にちよつと考えてみよう！

撮影◎モリヤン
文◎浦田保成
Photographs by MORIYAN
text by Yasunari Urita

昔は高嶺の花だったハーレーも、現在では、幅広い層に広がりを見せている。そうは言っても、ハーレーが高い乗り物であることには変わりはなく、新車で買くと、スポーツスターならからうじて100万円を切る883がある。しかし、ビッグツインの最廉価版FXD——ダイナスーパーグライドでも160万円の後半、FXST——ソフテイルスタンダードが170万円の後半。それ以外のビッグツインは、のきなみ200万円近辺か、200万円をオーバーしているのが現状だ。現在の日本経済の状況では、とつても高い買い物であるのは間違いない。でもね、ここ10年以上ビッグツインって200万円近辺をキープしてる。イヤーモデルごとに改善されている現状を考えると、価格がほぼ据え置かれてい



BEFORE

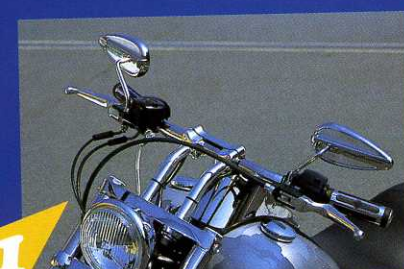
this Month's Subject#1
FXST Softail Standard



るのは、ハーレー側の企業努力と考えていいはずだ。
つまり、今の日本の現状では、ローンは組めるから手に入れるのは比較的楽(?)で、手に入れてからはガス代やオイル代、盗難防止プロテクトなんかで「なんにもできない」ってお手上げのユーザーが結構いるはず。だからホットバイクが10万円できるカスタムやチューニング、時にはメンテナンスを教えちゃいましょう! 10万円の使い方は人それぞれ、ケースバイケース。でもこんな使い方もあることを、今後このページでチェックしてね!

本日のお買い上げ

●HDドラッグバー	7280円
●HDティアドロップミラー(スクリプト)	2万 600円
●HDクローム&ラバーハンドグリップ	1万1900円
●HDパッドランダーカスタムシート	4万8400円
●レインボーステンレスメッシュブレイキホース	2万1000円
●レインボーハンドルバーライザーアダプター	5500円
●レインボーブレードウインカーキット	1万8000円
合計	13万2680円
作業工賃	1万4500円
小計	14万7180円



1

スタンダードのバックホーンからドラッグバーへ交換!

左がブルバックライザーを使用して装着したドラッグバーハンドル。右がストレートのライザーを使用して、少し高く位置にポジションしたドラッグバー。後者はFXSTB——ナイトトレインのパーツをそっくり流用する。上に記した予算内で、どちらかの好みのタイプを選べる。



位置を移動したフロントウインカー

ハンドルに装着されていたスタンダードから、純正ウインカースターを使用したブレードウインカーキットに。ステンメッシュのブレイキホースもウレシイ仕様。

3



2

ミラーとグリップもオリジナリティを演出

ハーレー純正オプションとなるミラーとクローム&ラバーのハンドグリップ。常に気にするミラーやグリップを交換するのは満足度も高い。



4

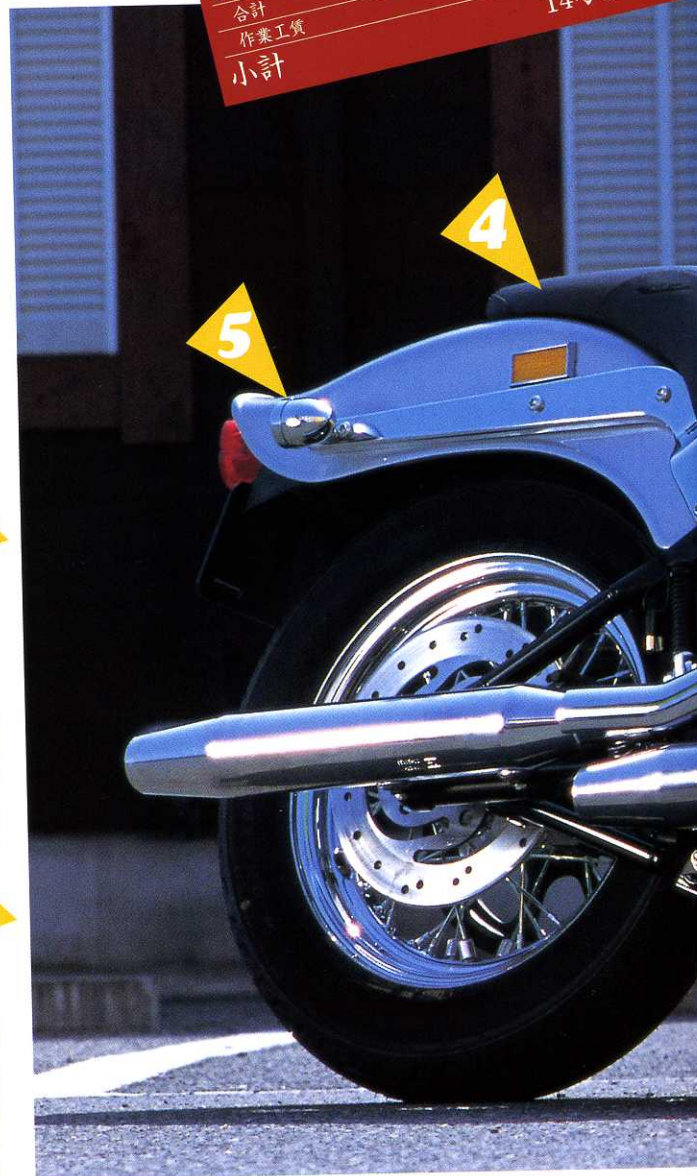
シート交換でスリムなシルエットに

シートにもやはりHD純正オプションのパッドランダーシートを装着。ノーマルのゴテゴテした感じを取り去ってスッキリまとまった。

リヤウインカーも小ぶりなものに交換

ウインカーは前後4つでキットとなっているが、ファットボブフェンダーに似合いの小さなウインカーがリヤスタイルを引き締めてくれる。

5



4

5

一口に“10万円”というのはカンタンでもハーレーの場合……!!



販売店ハーレーダビッドソンレインボーである。このショップでは、新車をベースに、ライトカスタムやベイントカスタム、それにオリジナルで製作したカスタムマシンに人気が集まっている。つまり新車を買っても、カスタムにまでまわすお金のないユーザーがいることを考え、はじめから新車をカスタムして販売するようになったわけだ。

同店では、FXSTソフテイルスタンダードが、かなり多く売れているという。ビッグツイン系の中では下から2番目の価格となるこのモデル。エンジン周りのメッキなどを廃した最低限の装備で、ソフテイルのなかでも、

レインボーの10万円コース。まずは、FXSTソフテイルスタンダード（前ページ）。これは、ハンドルをノーマルのバックホーンから、ライザーノドラグタイプに変更、そして純正の中では細身のバッドランダーシートを組み合わせて、すっきりしたスタイルに仕上げています。全部つけると、実は10万円を大幅に上回っちゃうんだけど、そうねえ、

いでもって、もうひとつがこのページのFXDLダイナローライダー。これは、存在感の大きなホイールをスポークからキャストに変更している。いわゆる伝統的なローライダースタイルを実現しているわけだけど、純正パーツなのに結構高いのよ、コレが！ホイール2本とハブだけで13万5000円近くかかった。でも、ローライダー買う人って、必ず、こつち側を見てから、のどから手が出るほどほしい。本当は13本スポークじゃなくて、ショベルローライダーと同じ9本キャストがいいんだけど、ハブの問題でちゃんとかどうか不明だそう。

ハーレーカスタムでは、10万円って実はあつという間。だけど、とりあえず、ここから始めないと、自分だけのオリジナリティはなかなか出てこない。ここに紹介したのは、ケースタディだから、安い金額で、なるべく目立つての考える人だっているだろう。どうせ、10万円使うなら、目立つほうがいいって人もいるだろうし、よく考えて有意義に使おうよ！

10万円コースのもう1台にはFXDLダイナローライダーをチョイスした。これには'77年にデビューしたショベルのローライダーを彷彿させるキャストホイールを装着している。本来は9本スポークだが、ツインカム88になってからは新しく登場した13本スポークが適合パーツになったため、いたしかたないところか……。実はコレ、フロント19インチのアセンブリーで6万1800円、リヤ16インチアセンブリーが7万円と、ホイール2本だけで軽く10万円を突破！しかもフロント用ハブプレートが2790円だから、部品代の合計が13万4590円にまで跳ね上がってしまった。ローライダースタイルを追求したいダイナ好きにはツライ現実デス……。

10万円コースを設定してくれたハーレーダビッドソンレインボー

レインボーはカラーリングカスタムなど手を入れたオリジナルモデルを手がける。ビッグツインではソフテイルスタンダードのカスタムが得意なショップである。またスポーツスターやビュエルといったスポーツモデルでのサーキット走行に関しても、豊富なノウハウを持つ。

ハーレーダビッドソンジャパン 契約正規販売店
ハーレーダビッドソン レインボー
〒300-0817
茨城県土浦市永国1059-6
Tel. 0298-22-6666
Fax. 0298-22-6677

